

学習内容と到達目標

☞ 友だちの紹介（性格、好み、特技などの紹介）ができるようになる。

前半：[1. VOCABULARY] ～ [3. FOCUS ON LANGUAGE]（ナ形容詞の導入）

後半：[4. PAIR WORK] ～ [10. SPEAKING]（友だちの紹介に必要な表現の練習）

指導のポイント

1. VOCABULARY

友だちの紹介に必要なナ形容詞を、「明るい」や「おとなしい」などのイ形容詞と共に導入。性格や人柄をイラストで表現するのは難しく、絵を見ただけでは何を意図しているのかわからないものもあるため（例えば8番）、このイラストは意味を理解させるためのものというより、記憶を助けるためのものとする。

語彙の選択に関して

この課の到達目標は「友だちの性格や好み、特技について紹介できるようになる」ことなので、6課と同様、課題の遂行に役立つ表現を優先し、「きれい」「元気」「親切」「まじめ」の4つのナ形容詞を最初に導入し、他のテキストでは必ずと言っていいほど最初に提示される「便利」や「有名」、「ひま（8課）」などは後回しになっている（「上手」だけを紹介し、「下手」は別の課で紹介するのも同じ理由）。

2. LISTENING

②では「どんな人」という質問の仕方に気づかせると同時に、名詞を修飾する時、名詞（被修飾語）との間に「ナ」が現れるものとそうでないものがあること（つまり、2種類の形容詞があること）にも気づかせる。

3. FOCUS

②では CD を途中で止めずに流しっぱなしにし、CD のスピードについていけるかどうか重要。間髪入れずに反対語が出てくれば問題なし（何回かやると学生が順番を覚えてしまうので、途中からは教員が口頭でキュー与え、順番を変えるようにする）。

4. PAIR WORK

①は「～は～が+形容詞」の導入。予習をしていない学習者は「大石先生は旅行、好きです」とか、「大石先生は旅行を好きです」というかもしれないが、②のディクテーションで正しい言い方に気づけば OK。また②では、形容詞の接続方法がイ形容詞の場合（「～くて」）とナ形容詞の場合（「～で」）で違うことにも気づかせる。

5. FOCUS

⑥では、[3. FOCUS] の②と同様、CD のスピードについていけるかどうか重要。

6. PAIR WORK

以下の会話例のように練習する。下線部は学習者自身に考えさせる（例、やさしくて、まじめな人です）。

会話例

学習者 A 「③はだれですか。」

学習者 B 「アリさんです。」

学習者 A 「どんな人ですか。」

学習者B 「 _____人です。写真が好きで、ギターが上手です。」

注. 最初の質問は「トウンさんはどの人ですか」でもよいが、「どの」は未習であることに注意。

7. LISTENING

①で身体的特徴を聴き取り、68 ページのイラストのどの人物について話しているかを特定する課題。使われているイ形容詞はすべて6 課で学習済みだが、「体」「耳」「足」「鼻」の4 語は初出なので注意（「顔」と「髪」は6 課で、「頭」「背」「目」の3 語は [4. PAIR WORK] で学習済み）。

8. SPEAKING

[4. PAIR WORK] の②にあるフォーマットを活用。身体的特徴を述べることは差別につながると考える人たちもいるので、要注意。

9. WRITING

[8. SPEAKING] と同様。

活動例

① 友だちの紹介

☞ [6. PAIR WORK] が終了した後に実施。この課で学習した表現を使い、友だちを紹介してもらう（日本へ来てから知り合った友だちでもいいし、国にいる友だちでもいい）。スピーチ形式でやる場合には、PowerPoint を使うが、ペアワーク形式でやる場合には、携帯で撮った写真を互いに見せ合いながら話させれば、結構盛り上がる。